

## まえがき

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-01-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 真田, 孝昭 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00000107">https://doi.org/10.14945/00000107</a>

## まえがき

久しぶりに夜半に大雨が降って、まだ小降りの雨の残る早春の日の午前中のことです。放送委員の子どもは「今日は生憎な雨です。教室で静かに過ごしましょう。」とアナウンスしていました。でも雨が上がるのを待ちかねた数人の子どもたちが、校庭に飛び出してきて、元気良く駆け回り始めました。「おいおい、君たち着替えはもってきているの」と尋ねたくなりますが、その心配無用、ご意見無用という感じです。子どもたちは排水が悪いために校庭にできた水たまりを上手によけて、サッカーの練習らしきことを始めました。

こんなふうに子どもたちは、閉じこめておくことのできないようなエネルギーにあふれています。ひとりひとりの子どもがもっているこのエネルギーを個性に応じていろいろな形であふれ出させたいものです。

私たちは、学校教育目標「自らをきりひらく子」の育成に向けて、平成8年以来、「学びをひらく」を研究主題に掲げ、教育実践を積み重ねてまいりました。本年度は、これまでの研究で明らかになってきたことを、さらに深めていくために、研究の方向を「その子ならではの学びをさらに探る」とし、教育研究実践を進めてまいりました。「子どもが学ぶ」ということを今一度見つめ、その子ならではの学びのさらなる可能性を求めていきたいと考えたからです。

みなさまの忌憚のないご批判、ご指導をいただきいっそうの研鑽に努めたいと思います。

研究を進めるにあたり、温かで、しかも的確なご助言ご指導を賜りました、助言者、協力委員の先生方、および本紀要を出版するにあたりご尽力いただきました先生方に心より感謝申し上げます。

平成14年3月

静岡大学教育学部附属静岡小学校長 真田孝昭